

要旨原稿の書き方見本

タイトルは
ゴシック体16 pt

氏名、所属、本文は
ゴシック体10.5 pt

20 mm

シランカップリング剤を用いたガラスの表面改質

(材料技術大院工・材料化研) ○材料はじめ、技術 正

【緒言】 シランカップリング剤による表面改質は無機表面に様々な性質を付与することができる。本発表では技術的課題を提起し、それらにむけた研究状況についての現況を示し、今後の展開について検討した。

【実験】 シランカップリング剤の合成は以下のスキームに従って行った。シランカップリング剤による表面改質はその実験過程に使用される装置も多岐に亘り周到な準備が必要である。ガラス表面での液体の接触角は光学式接触角計を用いて測定した。

【結果】 表面改質したガラス上での水の接触角はカップリング剤の鎖長の増加に伴って変化した。

20 mm

20 mm

<記入上の注意>

1. 講演要旨は講演1件につきA4縦1ページ（今年より変更）で作成してください。
2. 要旨原稿の作成には、文書作成ソフトウェア（Microsoft Word, Apple Pages, TeX 等）を用い、最後にPDFで書き出してください。
3. 周囲の余白設定を上下左右共に(20 mm)となるように設定してください。
4. 上から講演題目、(所属)発表者名(発表者に○)、本文の順に書き、(所属)発表者名と本文の間を1行あけてください。
5. 日本語の横書き論文と同様に、句読点は「、」（カンマ）および「。」（マル）または「。」（ピリオド）をご使用ください。
6. 本文には図表を含めることができます。要旨を読みやすくするため適当な見出し(緒言、実験、結果、考察など)をつけることも可能です。
7. 本年度はPDFで配布されるため、図表等にカラーを用いても構いません。
8. 要旨原稿は必ずPDF形式に書き出して提出してください。Word形式等、その他の形式では受け付けられません。ご注意ください。

20 mm